

すごい弁当力！

佐藤 剛史

人間力、全能力など、「力」という言葉を最近良く耳にしていたので、同じような内容では、と思いつつ読み進めていると、弁当には、それまでの生活、人の考えを変える力があるかもしれない、と感じました。弁当を作ること、時間配分、献立を考える力、彩り、そして食べてもらう人の事を思う心が養われるとありました。思い返すと、私は、中学校、高校、専門学校に至る約8年間も母に弁当を「作ってもらって」いました。当たり前のように弁当を持って行き、時には文句を言い、母が弁当を作ってくれていた時間や思いを全く考えていませんでした。ああ、何てことをしていたんだろう、と思い、私もやってみようと、まず、週に1回、同居している友人と私の二人分の弁当を作ることになりました。すると、それまで友人を単なる同居人としか思っていない自分に気づいたので。一緒の時間に同じ場所にも心からの言葉がなく、表面的な共同生活を続けていたのです。明日の弁当は何を入れよう、と考える時、友人の顔が思い浮かび、輪郭がハッキリしてきたような気がしました。弁当作りを初めて約1カ月半。正直、思いやりを持つ、というところまで行っていません。それよりも、彩りなど考えていない、義務的になっているという自分の嫌な面を見ることがあります。しかし、「楽しい」と思う気持ちを大切に、「弁当力」を信じてやってみたいと思います。何か自分の中で変わることを願って。

C・Y



五月書房

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写・転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞